22年ぶりの短時間記録的豪雨に見舞われる パリ

9日（日）夜、パリでは22年ぶりの記録的短時間豪雨に見舞われ、多くの地下鉄の駅が閉鎖されました。

1時間で49㎜に及ぶ猛烈な雨が降り、これは、7月の平均降水量3週間分に相当します。1995年7月2日に記録された1時間に47㎜の記録を上回りました。観測が始まった1880年以降、137年間で最も激しい雨が降ったことになります。

この雨で、パリ市内の20近い地下鉄の駅では、構内に大量の水が流れ込んだため閉鎖されました。また、14区のモンスリ（Monsouris）公園付近では68㎜を記録。その他の地域でも、フランス中東部のロン＝ル＝ソニエ（Lons-le-Saunier）では77㎜、中西部のシヴレイ（Civray）では86㎜と猛烈な雨を記録するなど、フランス各地で大雨が報告されています。

大気の状態が非常に不安定なことから、しばらくは注意が必要です。フランス滞在中、渡航予定の方は最新の気象情報を常に確認するようにしてください。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ
オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。

